

小名浜地区の賑わいづくりへの取り組み



様式2

福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課 技師 本田 樹

～アクアマリンパークのイオンモール開業及び世界水族館会議等へ向けた対策～

1. はじめに

小名浜港1・2号ふ頭地区のアクアマリンパークは、7月の「おなはま海遊祭」、8月の「いわき花火大会」など年間を通して様々なイベントが開催され、年間174万人（H29）の観光客が訪れる県内屈指の観光拠点である。特に平成30年度は、6月にイオンモールが開業し、11月には世界水族館会議が開催されるなど、県内外はもちろん海外からも多くの人が集まり、小名浜地区の復興創世をアピールする年となった。



2. 賑わいづくりへの取り組み

小名浜港湾建設事務所では、小名浜港の賑わいづくりとして、イオンモール開業に向けた築山整備や臨港道路の道路標識整備、世界水族館会議に向けた小名浜港案内板整備、更に「いわき花火大会」や夏休みの繁忙期に配慮した臨時駐車場整備など、様々な取り組みを行った。

- ・周辺環境の整備（交通円滑化対策や安全対策等）

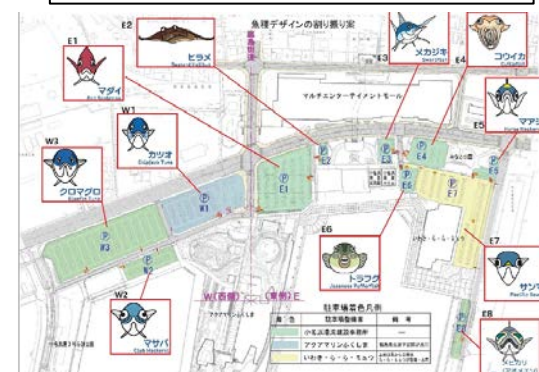
施設出入口付近での
追突事故への注意喚起



津波災害対策のための
築山公園の整備



円滑な駐車場誘導のため
の駐車場明示看板の整備



・渋滞対策のための広報

アクアマリンパーク周辺における交通渋滞対策や円滑な駐車場誘導のために、いわき市や関係施設管理者と「交通案内マップ」、「海遊マップ（周遊マップ）」の作成を行い、事務所ホームページや事務所広報誌を利用した周知を行った。



・繁忙期の駐車場不足への対応

イオンモールの開店や世界水族館会議へ向け、駐車場の不足が予想されたことから、3号埠頭緑地で行っている駐車場整備工事において、施工範囲を分割し部分供用を図った。



・世界水族館会議への対応

アクアマリンふくしまで開催の世界水族館会議には、世界各国から来訪者が訪れることが予想されることから、アクアマリンパークの既設案内板に英語表記を追加した。



3. 結果

小名浜港1・2号ふ頭地区を中心とした取り組みにより、アクアマリンパークの機能性や利益性が向上し、最初の週末3日間で12万人を超える来場者が訪れた「イオンモールいわき小名浜」の開店や世界35カ国約500人が訪れた「世界水族館会議」の円滑な開催など、**小名浜地区の更なる賑わいを創出するとともに、東日本大震災からの復興の姿を世界に発信することができた。**

4. 今後の取り組み

- ・ SNSを活用した情報発信
- ・ 今後の利用状況を踏まえた周辺環境整備
- ・ クルーズ船の誘致など新たな賑わいづくりの取り組み

